

《 国際文化学科 卒業論文題目一覧 》

2007年度

卒業論文題目	指導教員
イギリスの多文化主義 戦後の有色移民政策	松本佐保
子ども兵の社会復帰におけるメンタルケアと国際援助	別所良美
パストラルケアワーカーはこうして「患者のこころを元気にする」～傾聴を大切にする姿勢からみえてくるもの～	野村直樹
「中学生のふつうを描く」-子どもが主体的に表現するためのサポートを試みる-	野村直樹
グローバリゼーションとアメリカ-メキシコ国境地域のローカリズム	山本明代
丹下左膳と大衆文化のヒーロー像	服部幸造
The Identity Problem of Moderization for Maori People as Exploded through Two Novels by Alan Duff	田中敬子
日本人のロングステイは成功しているか-マレーシアの事例から-	野村直樹
OFFが生み出す効果	日木満
Out of 文の構造	日木満
The Concept of Home in Exile : Study of Three Short Stories in Jhumpa Lahiri's Interpreter of Maladies	田中敬子
出稼ぎ労働者の子どもの教育-バイリンガル教育の理論と日本語教室での参与観察から-	佐野直子
江戸名物「にぎりずし」～そのルーツを探る～	服部幸造
「名古屋めし」からみる名古屋の観光事情	やまだあつし
三島由紀夫「綾の鼓」における絶対と相対	谷口幸代
近世のおんな旅の実態～「東路日記」とともに～	服部幸造
バレンタインデーとチョコレートの関係	やまだあつし
継承する森林 -天竜の一山林保有者として森林の維持を考える	赤嶺淳
オーストラリアの白豪主義政策	松本佐保
伝承でつながる-伝承、それはコミュニケーション-	赤嶺淳
クリントン政権と人道的介入	平田雅己
ジャック=ルイ・ダヴィッドの絵画-構図の特徴とその政治的意味について-	寺田元一
教科書にみる国語科の変遷と国語政策	佐野直子
ペットブームの裏側 -ロボットをペットにすることは可能か-	やまだあつし
茶道の愉しさを求めて-京都炭屋旅館でのフィールドワーク-	野村直樹
戦没者慰霊とナショナリズム	別所良美
HIP HOPから見たアメリカ-格差の中に潜む抑圧的社会構造の現実とその打開を目指して-	山本明代
「伊勢物語」における登場人物と在原業平	服部幸造
実践の物語-私の目から見たまちづくり-	赤嶺淳
カナダの多文化主義～移民政策の歴史的変遷～	松本佐保
ユダヤ教・キリスト教・イスラム教における天使の考察 ～ミカエル・ラファエル・ガブリエルを中心に～	ラジヤ
「子どもと歌」 ～わらべ唄・童謡・唱歌から見る、家族と社会～	服部幸造
「江戸時代における遊びの性質」-身分と性別の観点から-	服部幸造
新自由主義思想 ハイエク再考	別所良美
二次創作と剽窃のあいだ -ドラえもん同人誌からみる著作者と二次創作者のすれ違い-	やまだあつし
望郷のデニアン-南洋移民2世の個人史	赤嶺淳
二人の印象派と二つの「ラ・グルヌイエール」 -ルノワールを中心に-	寺田元一
沖縄をめぐる日米関係 -「施政権返還」とは何だったのか-	平田雅己
コリン・パウエルとアメリカの対外軍事介入政策	平田雅己
女ことばの移り変わりと今 ～メディアから見る現代の女ことば～	佐野直子
宗教が見る「生」と「死」	ラジヤ
信仰心とボランティア活動～その活動と理念～	ラジヤ
「羊をめぐる冒険」に見る村上春樹の世界	田中敬子
現代における日本の「禅」	やまだあつし
七福神信仰-七福神巡りの成立とその発展-	ラジヤ
イギリスにおける帝国意識-第一次世界大戦とイギリス帝国-	松本佐保
拡大するグラフィティ・カルチャー	山本明代
地域おこしをまつりで -岐阜県可児市六社神社の例大祭-	赤嶺淳
「創世神話」-『日本書紀』を中心として-	服部幸造
イギリスと戦後世界秩序	松本佐保
有松絞りの新たな挑戦	野村直樹
英語観についての一考察	佐野直子
ミヒヤエルエンデにとってのファンタジーとは	土屋勝彦
ヨーロッパ渡り更紗の独自性 -ヨーロッパがインドの布に描き出そうとしたもの-	寺田元一
ハリウッド映画に現れるファミ・ファタールの多面性	田中敬子

卒業論文題目	指導教員
現代映画に見る1950年代アメリカ女性の考察－「モナリザ・スマイル」「エデンより彼方に」を中心に－	田中敬子
ウッディ・アレンの映画「マッチポイント」に見る悲劇的人生の考察	田中敬子
日本のPKO海外派兵問題	平田雅己
米国の台湾政策に見る本音と建前	平田雅己
香港返還をめぐる中英関係の軌跡－民主化をめぐる攻と防－	松本佐保
なぜ日本人は銭湯に行くのか	野村直樹
カフェハウスと茶館の比較研究	土屋勝彦
“ニクシンジャー”外交と冷戦	平田雅己